

screen chat

企画書

No.42 堀 正斉

アプリ概要

1.どのようなユーザーが使うのか

- ・中小企業のweb担当者（プログラミング、デザインのスキルなし）、その人とやりとりをするエンジニア / デザイナ

2.何を達成したいのか

- ・中小企業のweb担当者が、webサイトの制作をする際によりスムーズに意見交換をできるようにする。それにより、web制作におけるボトルネックになりがちな発注側と受注側のコミュニケーションコストを劇的に減らす。

3.どのような機能があるのか（後述）

4.類似サービスとは何が違うのか

- ・リアルタイム通信（チャット、画面共有）
- ・web制作（というかwebディレクション）の初心者をサポートするための、制作の流れを終えて、進捗管理ができるツール

5.リリース日はいつか

- ・ α 版:4月15日頃、 β 版:5月14日頃予定。本リリース:6月10日頃を予定。

6.収益構造はどのようなものか

- ・課金制度orAD（ADは無料版のみの運用時に検討？）

7.アプリ名

- ・screen chat（仮称）

コンセプト・ターゲット

コンセプト

中小企業のweb担当者がwebサイトを作る際、外注先の人たちとのやりとりをよりスムーズにできるようにするためのツール。このアプリにより、web制作でボトルネックになりがちな、発注側と受注側のコミュニケーションコストを劇的に減らすことを目的とする。

ターゲット

- ①デザイン、プログラミングの知識が全くない中小企業やベンチャーのweb担当者
- ②①の人たちとやりとりをすることになるデザイナー / エンジニア

アプリを作ることになった背景

- ・自身がwebディレクションを初めてした際に、「デザインがメールで送られてくる」→「確認して修正要望事項をメールで伝える」→「うまく伝わらなさそうなところは対面で打ち合わせをする」→……というサイクルを繰り返していたが、もっとこのめんどくさいやりとりをどうにかできないかと思ったことがきっかけ。
- ・指示のメールを打つのが長くなるし、疲れる。チャットの方が自分は楽だし、リアルに集まる打ち合わせもできるだけ回数を減らしたい、と思った。
- ・また、デザインもプログラミングもわからないことが原因で、webサイトを制作する際に、あれこれと後になって変更が大変な部分の要望を出してしまう、というような「web制作あるある」も減らせないか、と自身の経験から考えた。

※発注者がその流れを分かっているならば、この「あるある」は回避できる可能性もあるのでは？という仮説。

アプリでできること

1

直感的に画像などの資料を取り込める。

2

打ち合わせ相手とリアルタイムで画面共有ができ、チャットもできる。

3

web制作のステップごとに流れを追えるコンテンツが付いている。

4

各ステップごとに必要な資料の雛形もアップロードされている。

5

締め切り日の設定が出来て、前日になるとアラートを飛ばす。

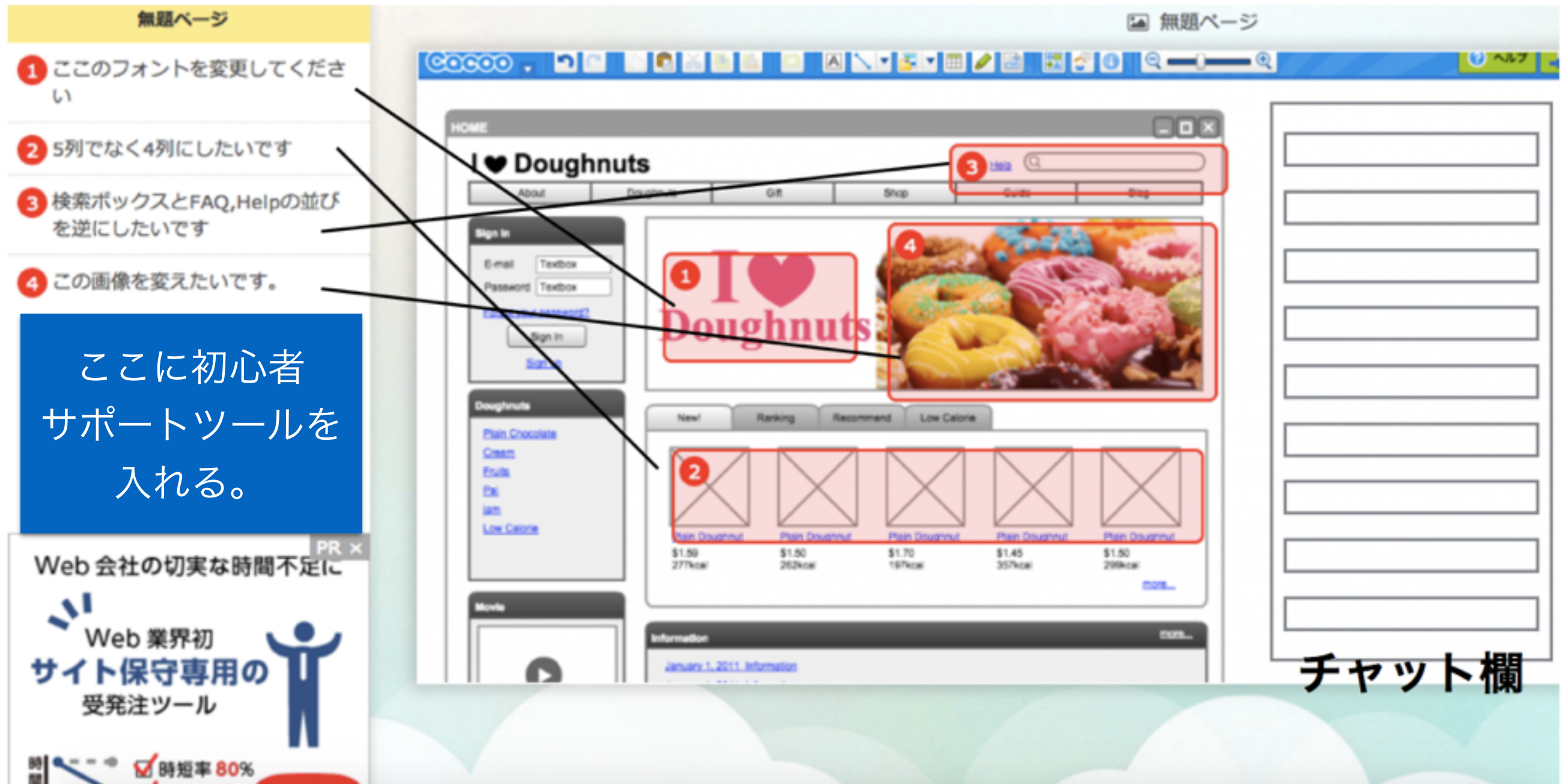
6

プロジェクトごとにルームを立ち上げられる（プレミアム版）

7

ユーザー数無制限で使える。（プレミアム版）

アプリ使用画面（イメージ図）



マネタイズ（まだ考え中です）

Free

¥0 / 月

Premium

¥980 / 月

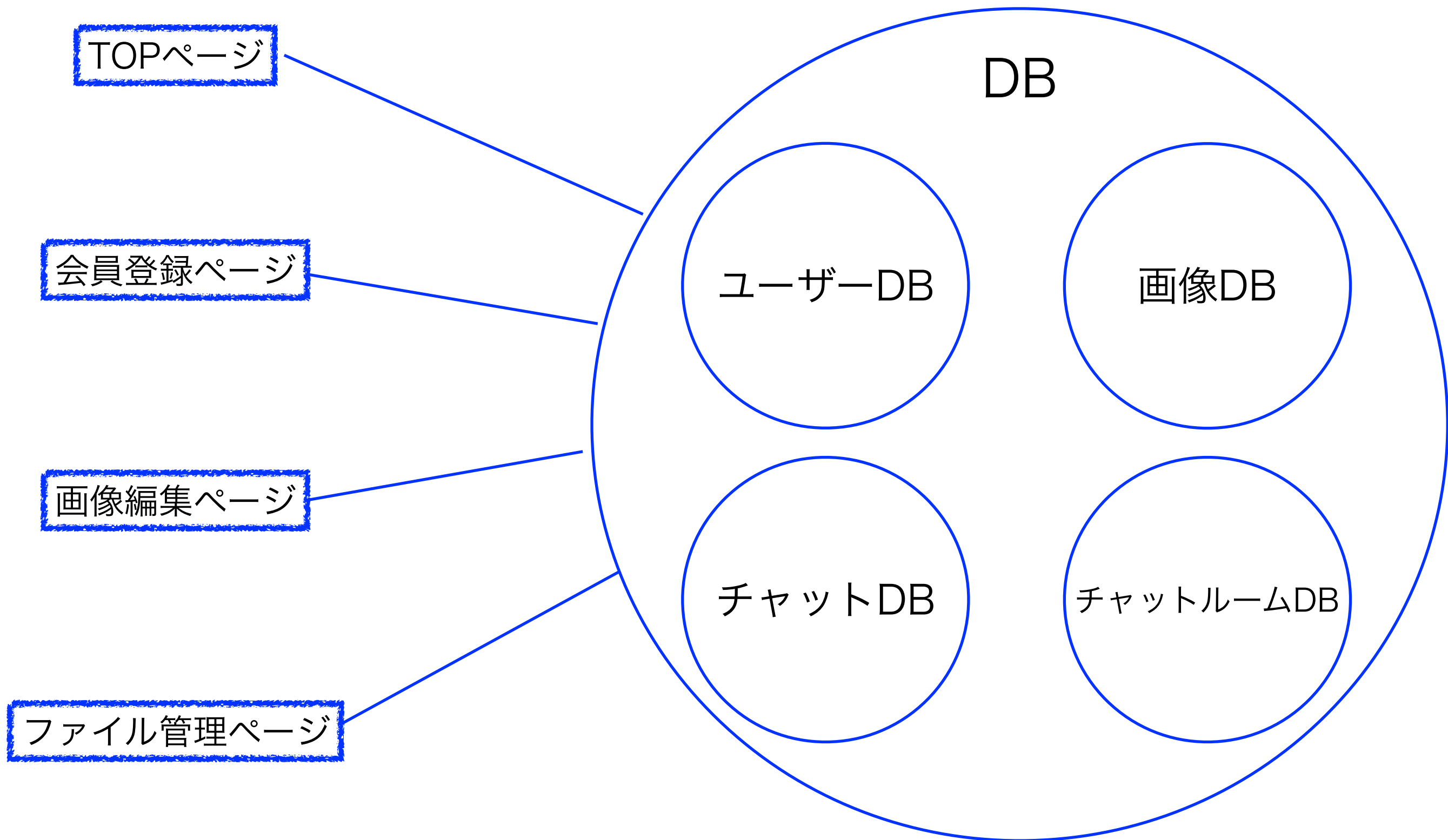
基本的には無料で使える仕組み。ファイル管理やリアルタイム編集の機能を使うにはプレミアムへのアップグレードが必要。

使用言語、技術（予定含む）

- HTML
- CSS
- javascript (jQuery)
- PHP
- MySQL
- milkcocoa
- node.js
- socket.io

赤文字部分は、リアルタイム通信で利用する予定ですが、milkcocoaを少し触ったことがある程度なので、判断が付いてません…。

全体設計



以上です。
ありがとうございました。